

お知らせ

記者発表資料	令和2年6月10日
配布日時	14:00

■同時発表先：岡山県政記者クラブ

『吉井川水害タイムライン《令和2年度版》』 完成報告について

～令和2年度の本格運用に向けて水系全体の多機関連携型タイムラインが完成～

吉井川水系の防災行動計画（タイムライン）については、平成30年7月豪雨や平成10年台風10号の経験を踏まえ、令和元年台風期から試行運用を開始しております。試行運用中に得られた教訓や課題を構成機関が共有・改善を実施し、この度、令和2年度の出水期を前に、改良されたタイムラインが完成いたしました。つきましては、下記の通り完成報告を行います。

記

日時 令和2年6月15日（月）10:00～10:30
場所 岡山市北区鹿田町2-4-36
岡山河川事務所 会議室

吉井川水害タイムラインの特徴

- ・台風または前線性豪雨に対応
- ・洪水、内水、高潮を対象としたマルチハザードに対応
- ・ダムの放流情報を考慮

- ※1 報道機関のカメラ撮り等につきましては制限がありません。
- ※2 取材を希望される場合は事前にご連絡下さい。
- ※3 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、取材される方はマスクの着用をお願いします。なお、会議室の換気、人と人との距離の確保、消毒液の設置を行います。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 岡山河川事務所 086-223-5196 【防災情報課ダイヤルイン】

総括保全対策官 かしはら 柏原 よしひこ 良彦 （内線308）

防災情報課長 このの 今野 あらた 新 （内線281）

吉井川水害タイムライン《令和2年度版》 完成報告

日時：令和元年6月15日（月）

10:00～10:30

場所：岡山河川事務所 会議室

次 第

1. 挨拶

中国地方整備局

岡山河川事務所長 横林 直樹

2. 吉井川水害タイムライン検討経緯報告

中国地方整備局 岡山河川事務所

総括保全対策官 柏原 良彦

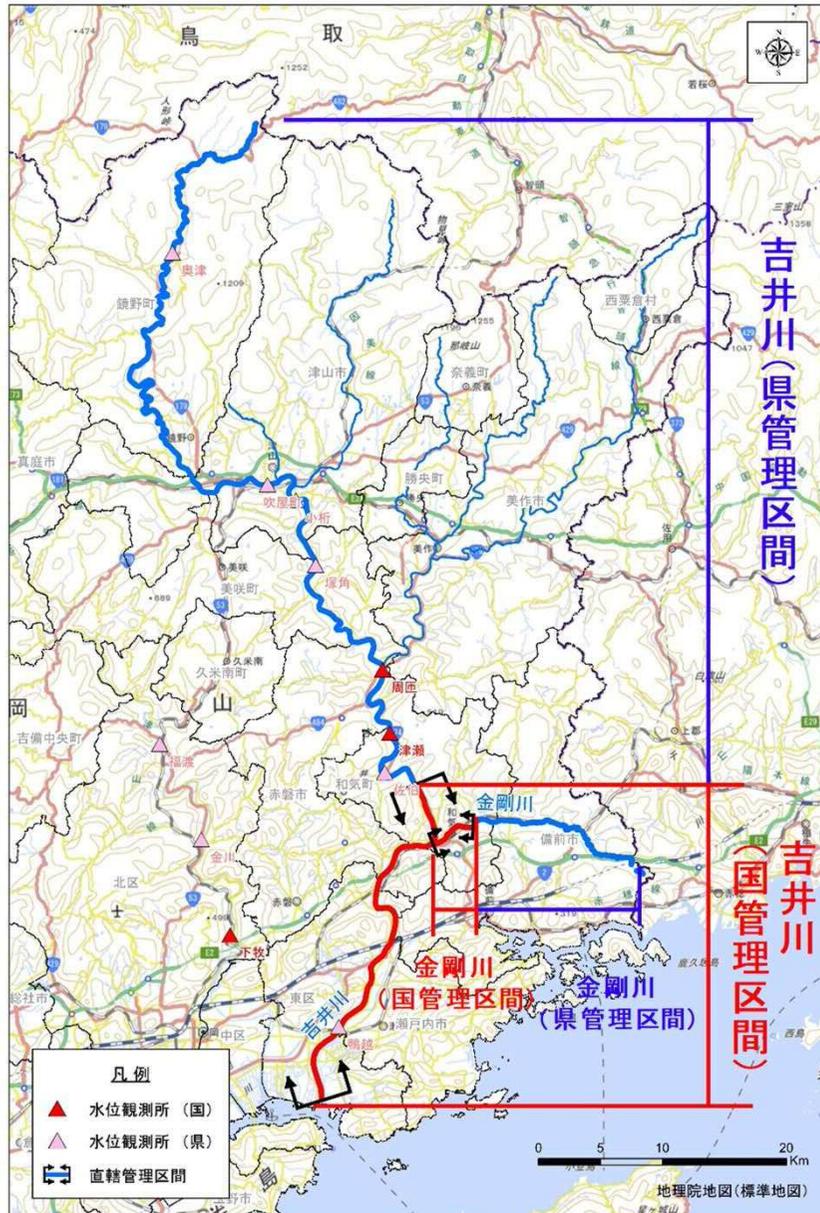
3. タイムライン完成報告・手渡し式

吉井川水害タイムライン検討会 座長

（岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授）

西山 哲

吉井川水害タイムラインの概要



- 河川の上・下流や本・支川間では、**ダム**の放流状況や流域に降る降雨の状況により、河川水位の上昇・下降に時間差が生じるため、**県管理区間の自治体やダム管理者も含めて検討**する。
- 吉井川河口部の岡山平野では**高潮**や**内水**が発生しやすく、吉井川が氾濫した場合、**浸水が拡散かつ長期化**する恐れがある。また、流域内は山地部が多い。このようなマルチハザード（複合災害）への対応が必要となる。
- 水系内の様々な関係機関が情報を共有し、連携・協力して、的確なオペレーションができる仕組みが必要である。
- 氾濫原を共有する**旭川水害タイムラインとの連携**を図りつつ検討する。

吉井川水害タイムライン検討会		
岡山市	勝央町	岡山県
津山市	奈義町	警察
備前市	美咲町	自衛隊
瀬戸内市	西粟倉村	住民
赤磐市	ライフライン（5機関）	気象庁
美作市	鉄道（1機関）	国土交通省（3機関）
和気町	バス（2機関）	計37機関
鏡野町	報道（9機関）	

⇒**高梁川の事例に続き、県管理河川を含めた水系全体でタイムラインを策定する**

国土交通省 中国地方整備局
岡山河川事務所 防災情報課 長谷川宛
申込先(FAX番号)086-234-2297

取材申込書

必要事項をご記入の上、FAXでお申し込み下さい。
申込みは、6月12日(木)17:00までをお願いします。

令和2年6月 日

会社名及び部署名
取材者の役職・氏名・連絡先（全員の役職・氏名を記載願います。）
①（代表者）
②
・（代表者の連絡先・携帯番号等）

- ・上記の通り取材を申し込みます。
- ・取材にあたっては、主催者側の指示に従うとともに、会議の妨げにならないように協力します。

連絡事項

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、取材される方はマスクの着用をお願いします。なお、会議室の換気、人と人との距離の確保、消毒液の設置を行います。